

はっぴー弘済会 ISHIKAWA

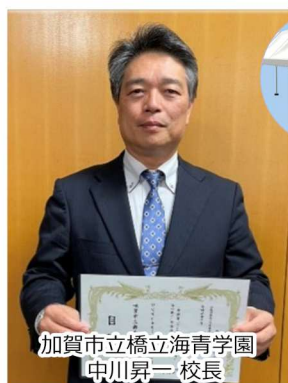
2 月号
2026 (R8)
February
No.3

公益財団法人
日本教育公務員弘済会石川支部
株式会社石川教弘
〒920-0901
金沢市彦三町2丁目1番45号むさしビル6F
ホームページ
[https://www.nikkyoko.or.jp/
company/ishikawa/index.html](https://www.nikkyoko.or.jp/company/ishikawa/index.html)

学校応援キャンペーン



今年度も㈱日教弘が主催する「学校応援キャンペーン」が6～8月に全国で実施されました。このキャンペーンは、提携するジブラルタ生命保険会社のLCさんが担当する学校の管理職の先生や事務職の方にアンケートをお願いし、キャンペーン商品の5つ(テント、電子黒板、高圧洗浄機、バッテリーステーション、熱中症計)から希望の品物を選んで申し込んでいただいたのでした。全国各地で多数の応募があった中、石川県からは学校賞として次の9校が当選されました。おめでとうございます！ なお、残念ながら当選とならなかった皆さんには全員に応募特典として4in1タッチペンをお渡ししました。たくさんのご応募、ありがとうございました。(以下は目録贈呈時の写真です)



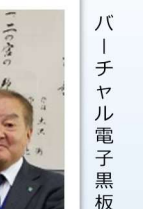
加賀市立橋立海青学園
中川昇一 校長



ワンタッチタープテント



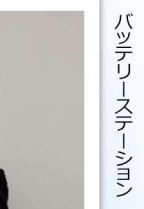
金沢市立長田中学校
清水憲之 校長



バーチャル電子黒板



金沢市立工業高等学校
水野勝正 副校長



バッテリーステーション



石川県立田鶴浜高等学校
赤島あけみ 校長



高圧洗浄機



小松市立那谷小学校
中 裕美 校長



バッテリーステーション



珠洲市立緑丘中学校
小島康志 校長



黒球式熱中症計



白山市立広陽小学校
中出庄矢 校長



高圧洗浄機



中能登町立鳥屋小学校
千場和代 校長



黒球式熱中症計



かほく市立大海小学校
吉田 武 校長



黒球式熱中症計

菊環羊羹プロジェクト



令和6年1月1日、輪島市にある祖母宅にて能登半島地震に遭った上谷菊環(かみやきくわ)さん(当時翠星高校2年)。家の下敷きになり3時間後に救出されたのです。その後、苦しい避難所生活を経験したことで「栄養と水分が手軽に摂れる美味しい非常食を作ろう」という強い決意を抱きました。高校の食品化学研究会で試行錯誤を重ね、最終的には老舗和菓子店「(株)森八」さんの協力を得て、この備蓄用羊羹が完成したのです。

弘済会石川支部では、この菊環羊羹の普及と児童生徒の防災意識の向上を目的に、白山市内全9中学校に約3400本の羊羹を寄贈させていただきました。各中学校で行った羊羹の贈呈式では、翠星高校の生徒さんが製造に至る経緯や羊羹に込めた思いを直接話し、中学校生徒会代表の生徒さんに手渡しました。

(以下は贈呈式の写真、高校生・中学生の感想です)

私たちは、白山市内9校の中学校を回り、菊環羊羹の備蓄推進活動を行いました。先輩方の取り組みを引き継ぎ、災害時の備蓄の大切さを中学生に伝えられたことを嬉しく思います。全校生徒の前での発表は緊張しましたが、練習の成果を発揮できました。今回のような貴重な機会をいただいたことに心から感謝しています。現在は、賞味期限を延ばす研究や商品化にも取り組み、全国の避難所への備蓄実現を目標に活動を続けています。

(翠星高等学校 丹羽琴音、東さくら、中川優乃、山田柚希)



鳥越中学校

菊環羊羹の話を聞いて、たくさんの工夫があることや震災の辛い体験のことがあったと分かって、製作者さんの思いが伝わってきました。私は、今、何かに熱中したり誰かのためになりたいなど思ったこともないけれど、製作者さんは人のためになる「羊羹」というものに熱中していて憧れました。貴重な体験をありがとうございました。

(鳥越中学校 尾西直樹)



笠間中学校

この度は多数の菊環羊羹のご贈呈、誠にありがとうございました。皆様のお話を伺い、日頃からの災害への備えがいかに大切か、ということを改めて感じさせられ、また、皆様の真心あふれる積極的な活動に、我々も勇気をいただきました。今後は本校でも、地域全体での防災・減災への意識の向上に取り組んでいこうと考えております。皆様の努力が実を結び、さらなる飛躍を遂げられることをお祈りしております。

(笠間中学校 河合芯太)



松任中学校

翠星高校のみなさん、今回の贈り物を本当にありがとうございました。いただいた羊羹はほどよい甘さで、手軽に食べることができる大きさでとてもおいしかったです。心のこもった贈り物に、とてもうれしい気持ちになりました。みなさんの優しさをはげみに、これからの学校生活も前向きにがんばっていきます。ありがとうございました。羊羹が非常食になるなんておどろきでした。

(松任中学校 東 美光)



美川中学校

お話をお聞きして、翠星高校の方々が災害の多い日本で積極的に防災に取り組まれていると知り、心から感動しました。また、上谷菊環さんが能登半島地震に被災されたときのお話から、私たちも防災に対する意識を高める必要があると感じました。災害はいつ来るか分からないということを強く意識し、防災に取り組んでいきたいです。

(美川中学校 徳田朱莉)



北星中学校



鶴来中学校

菊環羊羹の贈呈式で、能登半島地震で被災されて辛い思いをされたことや、その経験から被災者の助けになるものを作りたいとプロジェクトが始まったことをお聞きました。私は一口食べて「おいしい！」と思いました。口の中に溢れる甘い幸せから、これを食べる事で災害時でも少し心が安らぐのではないかと思います。災害が起きた時、復興や復旧はマイナスをゼロにする働きがあるのだと思います。しかし、この菊環羊羹はゼロからプラスへの原動力になるものだと思います。この菊環羊羹が日本、さらには世界にも発信できるよう、私たちも応援しています。(鶴来中学校 山内恒輝)



北辰中学校

この度は、大変貴重なお話と菊環羊羹の贈呈、誠にありがとうございました。お話を通して、菊環さんの「自分で作ろう」という発想や行動力が深く印象に残りました。お二人の話しぶりからも、被災することの大変さや、困難に負けず努力する姿勢が強く伝わってきました。いただいた羊かんは家で大切に保管し、万が一の時には活用させていただきます。(北辰中学校 久保凜奈)



白嶺小中学校

僕は、「高校生が羊かんを開発した」と知った時、とても驚きましたが、ご自身も被災されたにもかかわらず周りの人を思いやり、その思いを行動に移して栄養や水分を手軽に補給することができる羊かんを開発したのはとてもカッコいいことだと思いました。僕も、課題に対して自分にできることを見つけて、積極的に行動できる人になっていきたいです。高校生から実際にお話を聞く機会をいただき感謝の気持ちでいっぱいです。

(白嶺中学校 川端一徹)



光野中学校

この度は「菊環羊羹」の寄贈式という貴重な時間を頂きありがとうございました。最初にお話を聞いて、開発者である菊環さんが能登半島地震で被災をされたということに驚きました。四日間にわたる避難生活で経験した食糧不足や断水、停電、通信不可という状況は耐えられないほどに辛かったと思います。その中でこの経験が無駄にせず部活動に生かし、水分と栄養がとれる羊羹を作り出すということにすごく感激しました。そして「菊和羊羹」という非常食が災害時に「誰かの希望になれば」というそんな菊環さんの思いや願いがすごく素敵だと感じました。この思いが全国中に広まり、災害で命を落とす人が一人でも少なくなったらいいなと私も思いました。菊環さん含め、食品科学会の皆さんの挑戦を私達は応援し続けます。本当に頑張ってください。改めてこの度はありがとうございました。(光野中学校 酒井心乃葉)

令和8年度
(2026)

貸与奨学生募集

1. 募集対象 大学院・大学・短期大学・高等専門学校(第4学年以上)および専修学校専門課程で学ぶ学生で学資金の支払が困難と認められる、令和8(2026)年4月1日時点で30歳未満の方
2. 募集人員 13名程度
3. 貸与金額 修学期間1年につき25万円以内。(最高100万円)
4. 募集期間 令和8(2026)年3月2日～令和8(2026)年4月30日
5. 申請手続 当支部に電話で直接お申し出下さい。申請手続についてご案内します。
(076)255-1461
6. 選考方法 当支部選考委員会(5月下旬開催予定)にて審査・選考
7. 決定通知 文書にて申請者に通知。貸与が決定した申請者には必要書類を送付
*選考に関わるお問い合わせには回答不可
8. 送金方法 指定口座に一括送金(7月予定)
9. 返還方法 卒業(正規の修学期間を終了)した年の12月から8年以内の年賦返還(100万円の場合のみ10年の年賦が可能)
*無利息(延滞金あり)



2027いしかわ総文 はけろ創造いざ 彩れ未来百万石の地へ



大会マスコットキャラクター
つづみ丸

様々なイベントで「2027いしかわ総文」をPR

「2027いしかわ総文」を盛り上げていくために、様々なイベントでPR活動を行っています。今年は「いしかわ産業教育フェア2025」と「百万石まちなかめぐりもみじ2025」の2つのイベントに参加しました。

イベントでは水引体験や缶バッジ製作、つづみ丸ぬり絵のワークショップを通じて、来場者に「2027いしかわ総文」に対する理解を深めてもらいました。参加した生徒は、慣れない接客に最初はぎこちなさがありましたが、続けるうちにコツをつかんで、スムーズに取り組めるようになっていきました。その他、石川県高等学校総合文化祭総合ステージにも出演して、大会をPRしました。

今後も様々な機会を通じて、「2027いしかわ総文」をPRしていきます。



「いしかわ産業教育フェア2025」で
「2027いしかわ総文」をPR

「2027いしかわ総文」生徒実行委員会統括会議を開催！

12月21日の第5回生徒実行委員会で「第1回生徒実行委員会統括会議」が開催されました。この会議は生徒実行委員会を構成する全てのメンバーから構成され、現在活動している生徒業務別委員に加え、全22部門の「生徒部門別委員」がオンラインで出席しました。「2027いしかわ総文」に向けた体制や、3月28日(土)に金沢駅もてなしドームで開催予定の「500日前PRイベント」について話し合われました。会議の進行や議事の説明、質疑応答は全て生徒のみで行われ、今回参加した生徒部門別委員からも多くの発言があり、充実した会議となりました。

「500日前PRイベント」では、「2027いしかわ総文」の全22部門が実演や展示、紹介を行う予定です。多くの方に楽しんでもらえるよう、準備を進めていきます。



「生徒実行委員会統括会議」で
説明する生徒実行委員

「2027いしかわ総文」 公式ウェブサイトがオープンしました！

「2027いしかわ総文」の公式ウェブサイトができました。大会の概要や部門の情報、生徒実行委員会の活動状況などを掲載していきます。皆様ぜひアクセスしてください。

<https://2027ishikawa-soubun.pref.ishikawa.lg.jp/>



大会マスコットキャラクター
つづみ丸



公式ウェブサイト



Instagram



X(旧Twitter)



Youtube